

カリキュラム・マップ

文学部の教育目的
世界の多様な文学・言語・文化・歴史・思想・教育に関するテキストや人に触れることを通じて、幅広い人文的教養と深い人間理解に裏打ちされた主体的な批評精神をもって社会に貢献できる人を育てる。

学修成果
<p>【学部全体】</p> <p>「学士(文学)」を授与される学生は、以下のような能力を有する。</p> <p>① キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること</p> <p>② テキストを正確に読解できること</p> <p>③ テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること</p> <p>④ 複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力を持つこと</p> <p>⑤ 他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと</p>

文学部全学科(全専修)基幹科目のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	① キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること	② テキストを正確に読解できること	③ テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること	④ 複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力を持つこと	他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと	各言語および言語圏の文学・文化について広く深い理解を持つ。
人文学とキャリア形成a,b	必修(基幹科目A)	2	人文学本来の学びの中で、個々の目標を問い、学問の意味や目的を明確にしなが、じぶんで人生設計し、キャリアをデザインすることが目標です。				○	◎	
インターンシップ	選択(基幹科目B)	3~4	企業・自治体・NPOなどでの就業体験を通じて、文学部での学びを深化させる機会を得るとともに、自らのキャリアデザインを考える機会とする。				○	◎	
海外フィールドスタディ<1.海外EAP>	選択(基幹科目B)	1~4	事前指導の後、夏休みの約4週間、言語表現・異文化対応・現地調査などの基本能力を現地で涵養する。帰国後、その成果を事後指導の際に発表する。	○		◎		◎	◎
海外フィールドスタディ<2.海外ASD>	選択(基幹科目B)	2~4	夏休みの約4週間、言語表現能力、異文化対応能力、現地調査能力の基本を現地で涵養する。	○		◎		◎	◎
海外フィールドスタディ<3.海外SLV>	選択(基幹科目B)	2~4	夏休みの約20日間、言語表現能力、異文化対応能力、現地調査能力の基本を現地で涵養する。短期留学を通じて、フランス語力を向上させ、フランスの文化と社会に関する理解を深める。		○	○		◎	◎
ケンブリッジ・サマープログラム	選択(基幹科目B)	2~4	9月中旬に2週間英国ケンブリッジ大学エマニュエルカレッジにて行われる講義、チュートリアルによる独立学習、セミナー、グループワーク、共同論文執筆などの現地学習を中心に、春学期と秋学期に事前・事後学習を行う。	◎	○	○	○	◎	◎
音楽学演習1・2	選択(基幹科目B)	2~4	音楽を対象とした研究を志す者(ないしはそれに準ずる者)がそれぞれの関心や問題意識から活発に意見を交換すること。	○		◎			
書道1・2	選択(基幹科目B)	2~4	教職に必要な書道について実践的に学び、習得する。		○	○	○		
実作・実践研究1・2	選択(基幹科目B)	3~4	劇映画の面白さとは何かということ、シナリオを読むこと、書くことをとおして具体的に考察する。				◎		
情報処理(PCプレゼンテーション)3・4	選択(基幹科目B)	1~4	プレゼンテーション用資料の作成等をつうじて、情報処理の基礎的な知識や技能を身につける。			○			
合同講義1・2	選択(基幹科目C)	1~4	異なる専門領域の教員が共通のテーマを設定し構成する講義により人文学の広がりや深さを理解する。	○	○	○	○	○	○
実作・実践講義1・2	選択(基幹科目C)	1~4	芸術における、「形(かたち)」に注目した作品読解の方法論を学ぶ。			◎	◎		
心理学1・2	選択(基幹科目C)	1~4	実証科学としての心理学の基本的枠組みのもと、「心」の様々な側面について理解することにより、自分や他者の「心」の働きを考える手がかりを得る。					◎	
情報処理1・2	選択(基幹科目C)	1~4	●情報化社会の装置やソフトウェアのしくみと活用の基本を学ぶ。入門者向けの講義であり将来高度な情報化社会の技術等を学ぶためのステップとする。●様々な情報を提供するメディアをクリティカルに読み解くメディア・リテラシーの基本概念を理解するとともに、その基礎的な「読解力」を身につける。			○			
宗教思想1(キリスト教と「知」)	選択(基幹科目C)	1~4	現在のわれわれの知の枠組みを決定した近代の西欧思想に触れ、その中で宗教の問題がどのような位置にあるかを考えること。	○	○	○		◎	
宗教思想2(欧米のキリスト教)	選択(基幹科目C)	1~4	受講者が現代の宗教思想に自分で触れ、考えるようになること。	○	○	○		◎	
倫理思想(キリスト教倫理)	選択(基幹科目C)	1~4	バイオエシックスの問題をキリスト教を中心に、さまざまな宗教的視点から分析していく。バイオエシックスに関する自分の考えを構築することをめざす。	○	○	○		◎	
英米文学概論	選択(基幹科目C)	1~4	英米文学専修を含む文学部学生に向けて、英米文学の歴史と今後の可能性、英米の差異などについて、作品を鑑賞しながら具体的に論ずる。				○	○	◎
ドイツ語圏文化概論1	選択(基幹科目C)	1~4	ドイツ語圏の文学、文化、言語の歴史と現在に関する基礎知識を学び、今後4年間の勉学全てに共通する重要不可欠な基礎知識を習得する。	○				◎	◎
ドイツ語圏文化概論2	選択(基幹科目C)	1~4	同上	○				◎	◎
フランス文学・文化概論	選択(基幹科目C)	1~4	フランスの文学と文化に関する基本的な知識を身につける。	○	○			△	◎

文学部全学科(全専修)基幹科目のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	① キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること	② テキストを正確に読解できること	③ テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること	④ 複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力を持つこと	他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと	各言語および言語圏の文学・文化について広く深い理解を持つ。
日本語学概論1	選択 (基幹科目C)	1~4	通史的な観点から日本語の特質や意義について基本的な認識を深める。		○	○	○		
日本語学概論2	選択 (基幹科目C)	1~4	通史的な観点から日本語の特質や意義について基本的な認識を深める。		○	○	○		
漢文学概論	選択 (基幹科目C)	1~4	日本文学の領域としての漢文学についてその特質や意義について基本的な理解を深める。		○	○	○		
日本文学概論	選択 (基幹科目C)	1~4	日本文学・文化全般に関して、その特色や意義について基本的な理解を深める。		○	○	○		
文芸・思想概論	選択 (基幹科目C)	1~4	文芸とはなにか、思想とはなにか、その両方を冠する問題の圏域について考える。	△			◎	◎	○
世界史概論1 (海域・海洋世界)	選択 (基幹科目C)	1~4	海域・海洋世界の諸テーマに関して通史的にその概要を学ぶ。	○	○			○	
世界史概論2 (大陸世界)	選択 (基幹科目C)	1~4	大陸世界の諸テーマに関して、通史的にその概要を学ぶ。	○	○			○	
日本史概論1	選択 (基幹科目C)	1~4	前近代史の諸テーマについて、通史的にその概要を学ぶ。	○	○				
日本史概論2	選択 (基幹科目C)	1~4	近現代史の諸テーマについて、通史的にその概要を学ぶ。	○	○				
超域文化学概論	選択 (基幹科目C)	1~4	超域文化学の概要について学ぶ。	○	○			○	
教育制度・政策論	選択 (基幹科目C)	1~4	学生は教育行政制度とその基本原理を説明できるようになるとともに、近年の改革動向とその背景について視野に入れながら理解を深めることができる。					○	
家庭教育論	選択 (基幹科目C)	1~4	学生は現代の家庭教育をとりまく社会文化的状況を知ることを通して、現代の家庭教育が抱える課題について考え、理解することができる。					○	
教育と福祉	選択 (基幹科目C)	1~4	学生は現代社会における教育と福祉はどうあるべきか、その哲学的理念と基本的な政策について考察することができるようになる。					○	
教育と宗教	選択 (基幹科目C)	1~4	日本の教育における「宗教」の扱われ方を把握し、今後の宗教教育に関する課題を考察する。	○	○			○	
ヘブライ語1・2	選択 (基幹科目D)	1~4	基礎聖書ヘブライ語文法を習得する。	○	◎				◎
ギリシア語1・2	選択 (基幹科目D)	1~4	古典ギリシア語基礎文法を習得し、簡単な原典テキストや引用文が理解できるようになること。	○	◎				◎
ラテン語1・2	選択 (基幹科目D)	1~4	古典ラテン語の修得によって、古典文献へ近づくのみならず、近代語の語源や背景を知って、言語理解を深める。	○	◎				◎
ドイツ語文献講読1・2	選択 (基幹科目D)	2~4	ドイツ語で書かれたテキストを読解できるようなドイツ語力を身につける。		◎				◎
フランス語文献講読1・2	選択 (基幹科目D)	2~4	フランス語で書かれたテキストを読解できるようなフランス語力を身につける。		◎				◎
英語文献講読1~16	選択 (基幹科目D)	2~4	英語で書かれたテキストを読解できるような英語力を身につける。		◎				◎

## カリキュラム・マップ

文学部の教育目的
世界の多様な文学・言語・文化・歴史・思想・教育に関するテキストや人に触れることを通じて、幅広い人文的教養と深い人間理解に裏打ちされた主体的な批評精神をもって社会に貢献できる人を育てる。

学修成果	
<p>【学部全体】 「学士(文学)」を授与される学生は、以下のような能力を有する。</p> <p>① キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること ② テキストを正確に読解できること ③ テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること ④ 複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力を持つこと ⑤ 他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと</p>	キリスト教学科ではキリスト教の歴史と文化について広く深い理解を持ち、宗教と社会の関連性を洞察できる能力を身につけることを目標とする。

文学部キリスト教学科のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)				
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	①キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること	②テキストを正確に読解できること	③テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること	④複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力を持つこと	⑤他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと
入門演習A1	必修 (指定科目A)	1	キリスト教に関する基礎知識(キリスト教的現象の諸相)を獲得しつつ、キリスト教学の対象の多様性を理解する。	◎	◎		○	
入門演習A2	必修 (指定科目A)	1	キリスト教に関する基礎知識(キリスト教的現象の諸相)を深めつつ、キリスト教学のアプローチの多様性を理解する。	◎	◎		○	
キリスト教学基礎演習A1	必修 (指定科目A)	2	それまでに獲得したキリスト教に関する基礎知識と、キリスト教学関係の学術論文の講読とに基づき、情報収集とレポート作成に必要な能力を身につける。	△	◎	◎		○
キリスト教学基礎演習A2	必修 (指定科目A)	2	それまでに獲得したキリスト教に関する基礎知識と、キリスト教学関係の学術論文の講読とに基づき、口頭発表と討論に必要な能力を身につける。	△	◎	◎		○
演習A1～A10	選択 (指定科目B1)	3・4	キリスト教学に関する特定の主題についての情報収集、資料の緻密な読解と分析、口頭発表、討論、ディベート、レポート作成等を通して、反省的思考能力を身につける。	△	◎	◎		○
フィールドワークA1	選択 (指定科目B2)	2～4	社会における様々な現場での参与観察に基づき、教室内で獲得した知識を批判的に検証し直す。	○			△	◎
フィールドワークA2	選択 (指定科目B2)	2～4	社会における様々な現場での参与観察に基づき、教室内で獲得した知識を批判的に検証し直す。	○			△	◎
ヘブライ語中級講読	選択 (指定科目B2)	2～4	「ヘブライ語1」「ヘブライ語2」で習得した文法知識に基づき、ヘブライ語聖書原典を読解する。	○	◎			○
ギリシア語中級講読	選択 (指定科目B2)	2～4	「ギリシア語1」「ギリシア語2」で習得した文法知識に基づき、ギリシア語聖書原典を読解する。	○	◎			○
ラテン語中級講読	選択 (指定科目B2)	2～4	「ラテン語1」「ラテン語2」で習得した文法知識に基づき、様々なラテン語テキストを読解する。	○	◎			○
キリスト教学中級講読1～3	選択 (指定科目B2)	2～4	キリスト教学に関する文献の講読をとおして、テキストの読解能力を高めるとともにキリスト教学の幅広さを理解する。	○	◎			○
ヘブライ語原典講読	選択 (指定科目B2)	2～4	「ヘブライ語1・2」「ヘブライ語中級講読」で習得した文法知識に基づき、ヘブライ語聖書原典を読解する。	○	◎			○
ギリシア語原典講読	選択 (指定科目B2)	2～4	「ギリシア語1・2」「ギリシア語中級講読」で習得した文法知識に基づき、ギリシア語聖書原典を読解する。	○	◎			○
ラテン語原典講読	選択 (指定科目B2)	2～4	「ラテン語1・2」「ラテン語中級講読」で習得した文法知識に基づき、様々なラテン語テキストを読解する。	○	◎			○
キリスト教学原典講読1～5	選択 (指定科目B2)	2～4	キリスト教学に関する文献の講読をとおして、「キリスト教学中級講読1～3」で習得したテキストの読解能力を高めるとともに、キリスト教学の幅広さを理解する。	○	◎			○
キリスト教学入門講義1(聖書1)	選択 (指定科目C)	1	キリスト教を理解するための基礎知識として、旧約聖書の概観的知識を得る。	◎				○
キリスト教学入門講義2(聖書2)	選択 (指定科目C)	1	キリスト教を理解するための基礎知識として、新約聖書の概観的知識を得る。	◎				○
キリスト教学入門講義3(キリスト教史1)	選択 (指定科目C)	1	キリスト教の様々な歴史的現れを概観し、キリスト教史(古代～近世)の基礎知識を習得する。	○				◎
キリスト教学入門講義4(キリスト教史2)	選択 (指定科目C)	1	キリスト教の様々な歴史的現れを概観し、キリスト教史(近代～現代)の基礎知識を習得する。	○				◎
キリスト教学講義1(旧約聖書学1)	選択 (指定科目C)	2～4	旧約聖書(ヘブライ語聖書)の思想内容を学びながら、旧約聖書の学問的研究とは何かを理解する。	○				◎
キリスト教学講義2(旧約聖書学2)	選択 (指定科目C)	2～4	旧約聖書(ヘブライ語聖書)の思想内容を学びながら、旧約聖書の学問的研究とは何かを理解する。	○				◎
キリスト教学講義3(新約聖書学1)	選択 (指定科目C)	2～4	新約聖書(ギリシア語聖書)の思想内容を学びながら、新約聖書の学問的研究とは何かを理解する。	○				◎
キリスト教学講義4(新約聖書学2)	選択 (指定科目C)	2～4	新約聖書(ギリシア語聖書)の思想内容を学びながら、新約聖書の学問的研究とは何かを理解する。	○				◎
キリスト教学講義5(キリスト教思想史1)	選択 (指定科目C)	2～4	歴史におけるキリスト教思想の展開を追い、キリスト教内外の思想的影響関係に関する知識を得る。	○				◎
キリスト教学講義6(キリスト教思想史2)	選択 (指定科目C)	2～4	歴史におけるキリスト教思想の展開を追い、キリスト教内外の思想的影響関係に関する知識を得る。	○				◎
キリスト教学講義7(比較宗教学1)	選択 (指定科目C)	2～4	宗教学の理論と方法論に関する基礎知識を学びつつ、特定の主題に関して具体的な比較宗教学的考察を検証する。	○				◎
キリスト教学講義8(比較宗教学2)	選択 (指定科目C)	2～4	宗教学の理論と方法論に関する基礎知識を学びつつ、特定の主題に関して具体的な比較宗教学的考察を検証する。	○				◎
キリスト教学講義9(神学思想1)	選択 (指定科目C)	2～4	キリスト教神学思想の歴史的展開と現在的情況に関する基礎知識を獲得する。	○				◎

文学部キリスト教学科のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)				
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	①キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること	②テキストを正確に読解できること	③テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること	④複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力をもつこと	⑤他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと
キリスト教学講義10 (神学思想2)	選択 (指定科目C)	2~4	キリスト教神学思想の歴史的展開と現況に関する基礎知識を獲得する。	○				◎
キリスト教学講義11 (キリスト教倫理学1)	選択 (指定科目C)	2~4	キリスト教における倫理(思想と実践)の可能性について批判的に考察する能力を身につける。	○				◎
キリスト教学講義12 (キリスト教倫理学2)	選択 (指定科目C)	2~4	キリスト教における倫理(思想と実践)の可能性について批判的に考察する能力を身につける。	○				◎
キリスト教学講義13 (宗教社会学)	選択 (指定科目C)	2~4	人間の社会的活動において宗教が果たす役割・意義、そして宗教がもたらす諸問題について、具体的事例に基づき考察する視座を獲得する。	○				◎
キリスト教学講義14 (宗教心理学)	選択 (指定科目C)	2~4	人間の心理的活動において宗教が果たす役割・意義、そして宗教がもたらす諸問題について、具体的事例に基づき考察する視座を獲得する。	○				◎
キリスト教学講義15 (キリスト教と教育1)	選択 (指定科目C)	2~4	キリスト教教育・宗教教育の歴史的展開並びに地域的特殊性を考慮しつつ、キリスト教と教育との連関を分析する。	○				◎
キリスト教学講義16 (キリスト教と教育2)	選択 (指定科目C)	2~4	キリスト教教育・宗教教育の歴史的展開並びに地域的特殊性を考慮しつつ、キリスト教と教育との連関を分析する。	○				◎
キリスト教学講義17 (アジアのキリスト教1)	選択 (指定科目C)	2~4	キリスト教のアジアにおける展開の諸相についての知識を獲得し、「キリスト教」を捉え直す視点を身につける。	○				◎
キリスト教学講義18 (アジアのキリスト教2)	選択 (指定科目C)	2~4	キリスト教のアジアにおける展開の諸相についての知識を獲得し、「キリスト教」を捉え直す視点を身につける。	○				◎
キリスト教学講義19 (アジアの宗教1)	選択 (指定科目C)	2~4	アジアにおける諸宗教伝統の成立と展開に関する基礎知識を獲得する。	○				◎
キリスト教学講義20 (アジアの宗教2)	選択 (指定科目C)	2~4	アジアにおける諸宗教伝統の成立と展開に関する基礎知識を獲得する。	○				◎
キリスト教学講義21 (キリスト教と美術1)	選択 (指定科目C)	2~4	美術作品に対してキリスト教が果たしてきた役割を理解し、美術におけるキリスト教文化の影響についての知識を得る。	○				◎
キリスト教学講義22 (キリスト教と美術2)	選択 (指定科目C)	2~4	美術作品に対してキリスト教が果たしてきた役割を理解し、美術におけるキリスト教文化の影響についての知識を得る。	○				◎
キリスト教学講義23 (キリスト教と音楽1)	選択 (指定科目C)	2~4	音楽作品に対してキリスト教が果たしてきた役割を理解し、音楽におけるキリスト教文化の影響についての知識を得る。	○				◎
キリスト教学講義24 (キリスト教と音楽2)	選択 (指定科目C)	2~4	音楽作品に対してキリスト教が果たしてきた役割を理解し、音楽におけるキリスト教文化の影響についての知識を得る。	○				◎
キリスト教学講義25 (キリスト教美術史1)	選択 (指定科目C)	2~4	キリスト教美術を鑑賞し、分析するための基本的な視点と方法を学ぶ。	○				◎
キリスト教学講義26 (キリスト教美術史2)	選択 (指定科目C)	2~4	キリスト教美術を鑑賞し、分析するための基本的な視点と方法を学ぶ。	○				◎
キリスト教学講義27 (キリスト教音楽学1)	選択 (指定科目C)	2~4	キリスト教音楽を鑑賞し、分析する為の基礎的な視点と方法を学ぶ。	○				◎
キリスト教学講義28 (キリスト教音楽学2)	選択 (指定科目C)	2~4	キリスト教音楽を鑑賞し、分析する為の基礎的な視点と方法を学ぶ。	○				◎
キリスト教学講義29 (キリスト教と文学1)	選択 (指定科目C)	2~4	文学においてキリスト教が果たしてきた役割について、具体的な作品の分析を通して、概観的な知識を身につける。	○				◎
キリスト教学講義30 (キリスト教と文学2)	選択 (指定科目C)	2~4	文学においてキリスト教が果たしてきた役割について、具体的な作品の分析を通して、概観的な知識を身につける。	○				◎
キリスト教学講義31 (キリスト教と映画1)	選択 (指定科目C)	2~4	映画においてキリスト教が果たしてきた役割について、具体的な作品の分析を通して、概観的な知識を身につける。	○				◎
キリスト教学講義32 (キリスト教と映画2)	選択 (指定科目C)	2~4	映画においてキリスト教が果たしてきた役割について、具体的な作品の分析を通して、概観的な知識を身につける。	○				◎
キリスト教学講義33 (キリスト教の礼拝1)	選択 (指定科目C)	2~4	キリスト教会における礼拝を考察し、そこに現れているキリスト教精神を理解する。	○				◎
キリスト教学講義34 (キリスト教の礼拝2)	選択 (指定科目C)	2~4	キリスト教会における礼拝を考察し、そこに現れているキリスト教精神を理解する。	○				◎
キリスト教学講義35 (キリスト教と現代社会1)	選択 (指定科目C)	2~4	現代社会における特定の具体的問題に対して、キリスト教がどのような対応を示し、どのような解決を提示しようとしているのかを理解する。	○				◎
キリスト教学講義36 (キリスト教と現代社会2)	選択 (指定科目C)	2~4	現代社会における特定の具体的問題に対して、キリスト教がどのような対応を示し、どのような解決を提示しようとしているのかを理解する。	○				◎
キリスト教学講義37 (日本キリスト教史)	選択 (指定科目C)	2~4	日本社会におけるキリスト教の展開を、政治的・社会的・文化的・思想的観点から考察する視座を獲得する。	○				◎
キリスト教学講義38 (日本宗教史)	選択 (指定科目C)	2~4	日本社会における諸宗教伝統の成立と展開に関する基礎知識を獲得する。	○				◎
卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	選択 (指定科目C)	4	大学での4年間の学習・研究の成果を卒業論文または卒業制作として結実させる。	○	◎	◎	◎	◎
世界史	専門関連科目	1~4	学科固有の学問領域を「世界史」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○
日本史	専門関連科目	1~4	学科固有の学問領域を「日本史」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○
社会学	専門関連科目	1~4	学科固有の学問領域を「社会学」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○
経済学	専門関連科目	1~4	学科固有の学問領域を「経済学」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○
法律学	専門関連科目	1~4	学科固有の学問領域を「法律学」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○
政治学	専門関連科目	1~4	学科固有の学問領域を「政治学」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○

カリキュラム・マップ

文学部の教育目的	
世界の多様な文学・言語・文化・歴史・思想・教育に関するテキストや人に触れることを通じて、幅広い人文的教養と深い人間理解に裏打ちされた主体的な批評精神をもって社会に貢献できる人を育てる。	

学修成果	
<p>【学部全体】 「学士(文学)」を授与される学生は、以下のような能力を有する。</p> <p>① キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること ② テキストを正確に読解できること ③ テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること ④ 複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力を持つこと ⑤ 他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと</p>	<p>【文学部】 ⑥言葉による人類の遺産を知り、文化創造の源に参加する。 【英米文学専修】 ⑦英語および英米文学・文化について広く深い理解を持つ。</p>

文学部文学部(英米文学専修)のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	①キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること	②テキストを正確に読解できること	③テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること	④複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力を持つこと	⑤他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと	⑥言葉による人類の遺産を知り、文化創造の源に参加する	⑦英語および英米文学・文化について広く深い理解を持つ
入門講義1・2	必修 (指定科目A)	1	英語学・英米文学を学習・研究する上で必要不可欠な基礎知識と思考力を修得し、英語学・英米文学の授業において用いることができるようになる。	○	△	△	○	◎	◎	◎
入門演習B1・2 a-g	必修 (指定科目A)	1	英米の文学作品を読み、文学を読む喜びを知ると同時に、今後の学習・研究の基礎となる読解力を養うことにより、文学鑑賞上の議論を行い、レポートを作成することができるようになる。		◎	◎	○	○	○	◎
基礎演習1・2 a-g	必修 (指定科目A)	2	入門演習での成果を踏まえ、文学研究の基礎となる専門用語と分析技法を修得し、英米の文学作品を読み、より高度な読解力を養うことにより、文学研究上の議論を行い、レポートを作成することができるようになる。		◎	◎	○	○	○	◎
英語基礎演習1・2 a-g	必修 (指定科目A)	2	英語による演習を通して、文学研究の基礎となる専門用語と分析技法を修得し、英米の文学作品を読み、より高度な読解力を養うことにより、英語で議論を行いレポートを作成することができるようになる。		◎	◎	○	○	○	◎
演習B1～30	選択 (指定科目B1)	3～4	英語学・英米文学の知識と方法論を総合し、議論・発表・レポート作成など、英語学・英米文学研究を実践できるようになる。		◎	◎	◎	○	◎	◎
英語表現演習1～20	選択 (指定科目B2)	3～4	英語による演習を通して、英語学・英米文学の知識と方法論を総合し、英語での議論・発表・レポート作成など、英語学・英米文学研究を実践できるようになる。		◎	◎	◎	○	◎	◎
文学講義1～42	選択 (指定科目C)	2～4	英語学・英米文学・文化、英語圏文学・文化に関する講義を通して、必要な読解力と知識を修得すると同時にそれぞれの分野固有の研究方法を学び、思考力を養うことにより、自ら研究を実践できるようになる。	○	△	△	◎	◎	◎	◎
卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	選択 (指定科目C)	4	これまでの学修成果に基づき、英語学・英米文学研究を自ら実践し、規定の書式に則り卒業論文にまとめることを通じて、大学での研究成果の集大成を論文で著すことができるようになる。		◎	◎	◎	◎	◎	◎

カリキュラム・マップ

文学部の教育目的
世界の多様な文学・言語・文化・歴史・思想・教育に関するテキストや人に触れることを通じて、幅広い人文的教養と深い人間理解に裏打ちされた主体的な批評精神をもって社会に貢献できる人を育てる。

学修成果	
<p>【学部全体】 「学士(文学)」を授与される学生は、以下のような能力を有する。</p> <p>① キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること ② テキストを正確に読解できること ③ テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること ④ 複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力を持つこと ⑤ 他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと</p>	<p>文学部は、言葉による人類の遺産を知り、文化創造の源に参加する。 ・ドイツ文学専修ではドイツ語およびドイツ語圏の文学・文化について広く深い理解を持つ。</p>

文学部文学部(ドイツ文学専修)のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	① キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること	② テキストを正確に読解できること	③ テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること	④ 複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力を持つこと	⑤ 他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと	ドイツ文学専修ではドイツ語およびドイツ語圏の文学・文化について広く深い理解を持つ
入門演習 C1	必修 (指定科目A)	1	ドイツ語圏の文学、文化、言語を学ぶための基礎知識を習得しながら、ドイツ文学専修で学習していくのに必要なさまざまな技術や方法の基本をマスターする。			◎	○	○	◎
入門演習 C2	必修 (指定科目A)	1	ドイツ語圏の文学、文化、言語を学ぶための基礎知識を習得しながら、情報収集、口頭発表、レポートや講義記録の作成とともに討論の仕方を身につける。			◎	◎	○	◎
ドイツ語入門1~4	必修 (指定科目A)	1	ドイツ語文法の基礎を集中的に学び、高年次で正確な文献の読解ができるようになる基本をマスターする。		◎				◎
ドイツ語基礎演習1・2	必修 (指定科目A)	2	全学共通カリキュラムのドイツ語集中コースを引き継ぎ、ネイティブ・スピーカー教員のもとでドイツ語のアクティブな運用能力をつける。			○			◎
ドイツ語基礎演習3	必修 (指定科目A)	2	1年次で習得したドイツ語力を踏まえて、ドイツ語の初級文法をマスターし、ドイツ語を読解するために必要な語学力の基礎をつける。		◎				◎
ドイツ語基礎演習4	必修 (指定科目A)	2	1年次後期に学んだ初級文法の知識を確実なものにしなが、副文を重点的に学んで、中級レベルの構文把握力と表現力をマスターする。			○			◎
ドイツ語基礎演習5	必修 (指定科目A)	2	2年次前期までに学んだドイツ語の知識を確認し、未習の文法事項を補いながら、ドイツ語の読解力をつける。		◎				◎
演習C(1-12)	選択 (指定科目B1)	2~4	ドイツ社会・文化の特定のテーマ領域について、自分で資料を集め読解し研究発表できる能力を身につけるとともに、発表内容について活発に討論できるようになる。		○	◎	◎	◎	◎
ドイツ語表現演習(討論I) 1A・B; 2A・B; 3A・B; 4A・B	選択 (指定科目B2)	2~4	「ドイツ語基礎演習1・2」のThemen aktuellコースを引き継いで、ネイティブスピーカー教員のもとでドイツ語のアクティブな運用能力をつける。			○			◎
ドイツ語表現演習(小論文) 5	選択 (指定科目B2)	3~4	知的なドイツ語文章作成の基礎知識と技術を実践的に学びながら、ドイツ語で思考しドイツ語で文章を書けるようになる。			◎			◎
ドイツ語表現演習(小論文) 6	選択 (指定科目B2)	2~4	2年次生が履修する場合は、プレイズメントテストを受けて合格することが必要な科目であり、知的なドイツ語文章作成の基礎知識と技術を実践的に学びながら、ドイツ語で思考しドイツ語で文章を書けるようになる。			◎			◎
ドイツ文学・文化演習1~7	選択 (指定科目B2)	3~4	ドイツ語を通じてドイツ語の背後にある文化を理解する。	○	◎				
ドイツ文学・文化演習8(検定ドイツ語)	選択 (指定科目B2)	2~4	2年次生が履修する場合は、プレイズメントテストを受けて合格することが必要な科目であり、ドイツ語を通じてドイツ語の背後にある文化を理解する。	○	◎				
文学講義	選択 (指定科目C)	2~4	講義を通じてドイツ語圏に関する知識を深めるとともに、自身がとりくむ課題を見出す。また自身が興味を持つテーマについての研究方法や研究成果についての情報を得て、自分の課題探求に役立てていく。	○				◎	◎
卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	選択 (指定科目C)	4	大学での4年間の学習・研究の成果を卒業論文または卒業制作として形に残すとともに、あるテーマについて資料収集・分析し、論理的な文章で自分の見解を提示し、相手を納得させることができる。			◎	◎	◎	○

カリキュラム・マップ

文学部の教育目的
世界の多様な文学・言語・文化・歴史・思想・教育に関するテキストや人に触れることを通じて、幅広い人文的教養と深い人間理解に裏打ちされた主体的な批評精神をもって社会に貢献できる人を育てる。

学修成果	
<b>【学部全体】</b> 「学士(文学)」を授与される学生は、以下のような能力を有する。 ① キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること ② テキストを正確に読解できること ③ テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること ④ 複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力を持つこと ⑤ 他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと	文学部は、言葉による人類の遺産を知り、文化創造の源に参加する。 ・フランス文学専修ではフランス語およびフランス語圏の文学・文化について広く深い理解を持つ。

文学部文学部(フランス文学専修)のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	①キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること	②テキストを正確に読解できること	③テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること	④複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力を持つこと	⑤他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと	フランス文学専修では、フランス語およびフランス語圏の文学・文化について広く深い理解をもつ
入門演習 D1・2	必修 (指定科目A)	1	フランスの文学、文化、社会に関する基本的な知識を身につける。文献の調査と分析、口頭発表、討論、レポート作成の技法の基礎を習得する。	△	○	◎	○	○	◎
フランス語入門1~4	必修 (指定科目A)	1	専門教育のために必要なフランス語の文法理解、読解能力、表現能力の基礎を身につける。		◎			○	◎
フランス語基礎演習1	必修 (指定科目A)	2	速読の実践により、専門教育のために必要なフランス語の読解能力を向上させる。		◎	△		○	◎
" 2・4	必修 (指定科目A)	2	会話の実践により、専門教育のために必要なフランス語の表現能力を向上させる。		○	△		○	◎
" 3	必修 (指定科目A)	2	文法知識を再確認し、作文を実践しながら語彙をふやすことにより、専門教育のために必要なフランス語の総合的な運用能力を向上させる。		◎	△		○	◎
" 5	必修 (指定科目A)	2	講読と作文の実践により、専門教育のために必要なフランス語の総合的な運用能力を向上させる。		◎	△		○	◎
演習 D1~12	選択 (指定科目B1)	3~4	フランスの文学、文化、社会に関する特定のテーマについて、専門的な知識を身につける。文献の調査と分析、口頭発表、討論、レポート作成の能力を向上させる。	△	○	◎	◎	○	◎
フランス語表現演習1~10	選択 (指定科目B2)	3~4	会話、作文、演劇や創作などの実践と、文法の再確認により、総合的なフランス語のコミュニケーション能力を向上させる。		○	△		◎	◎
フランス文学・文化演習1・3・5・7	選択 (指定科目B2)	3~4	フィクション作品、エッセー、時事フランス語の精読、映像作品の分析などにより、フランスの文学と文化に関する理解を深める。		◎	○		△	◎
フランス文学・文化演習2・4・6・8	選択 (指定科目B2)	2~4	フィクション作品、エッセー、時事フランス語の精読、映像作品の分析などにより、フランスの文学と文化に関する理解を深める。		◎	○		△	◎
文学講義 201・202・203・205・206・207・208・209・214	選択 (指定科目C)	2~4	フランスおよびフランス語圏の文学・思想に関する幅広く深い知識を身につける。関連分野におけるさまざまな研究方法や研究成果について学ぶ。	△	○		◎	△	◎
文学講義 204・210・211・212・213・215・216	選択 (指定科目C)	2~4	フランスおよびフランス語圏の文化、社会、芸術に関する理解を深める。歴史的、地理的な比較によって、広い視野を身につける。	△	○		○	◎	◎
文学講義217・218	選択 (指定科目C)	2~4	フランス語学に関する幅広く深い知識を身につける。	△	○		○	○	◎
卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	選択 (指定科目C)	4	論文の制作を通じて、独自の議論を組み立てる能力を身につける。		◎	◎	◎	○	◎

## カリキュラム・マップ

文学部の教育目的
世界の多様な文学・言語・文化・歴史・思想・教育に関するテキストや人に触れることを通じて、幅広い人文的教養と深い人間理解に裏打ちされた主体的な批評精神をもって社会に貢献できる人を育てる。

学修成果	
<b>【学部全体】</b> 「学士(文学)」を授与される学生は、以下のような能力を有する。 ① キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること ② テキストを正確に読解できること ③ テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること ④ 複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力を持つこと ⑤ 他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと	文学部は、言葉による人類の遺産を知り、文化創造の源に参加する。 ・日本文学専修では古今の日本語および日本文学・文化について広く深い理解を持つ。

文学部文学部(日本文学専修)のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)				
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	①キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること	②テキストを正確に読解できること	③テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること	④複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力をもつこと	⑤他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと
入門演習 E1a	必修(指定科目A)	1	日本文学の読み方、調査の方法、問題の設定の仕方など、個々の分野及びテキストを例に基礎的な学習法や研究法を習得する。		◎	◎	○	○
入門演習 E1b	必修(指定科目A)	1	同上		◎	◎	○	○
入門演習 E1c	必修(指定科目A)	1	同上		◎	◎	○	○
入門演習 E1d	必修(指定科目A)	1	同上		◎	◎	○	○
入門演習 E1e	必修(指定科目A)	1	同上		◎	◎	○	○
入門演習 E2a	必修(指定科目A)	1	同上		◎	◎	○	○
入門演習 E2b	必修(指定科目A)	1	同上		◎	◎	○	○
入門演習 E2c	必修(指定科目A)	1	同上		◎	◎	○	○
入門演習 E2d	必修(指定科目A)	1	同上		◎	◎	○	○
入門演習 E2e	必修(指定科目A)	1	同上		◎	◎	○	○
日本文学研究法	必修(指定科目A)	1	日本文学・文化の全般について様々な角度からふれて幅広く理解し、その特質や意義について深く認識する。	○	◎	○	○	◎
演習 E1	選択(指定科目B1)	2~4	日本文学・文化の特定領域について、より専門性を高め、高度な知識をふまえた学習・研究方法や態度を身につけ、問題認識を深める。		◎	◎	◎	○
演習 E2	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E3	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E4	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E5	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E6	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E7	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E8	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E9	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E10	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E11	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○

文学部文学部(日本文学専修)のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)				
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	①キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること	②テキストを正確に読解できること	③テキストについての自らの解釈を説理的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること	④複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力をもつこと	⑤他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと
演習 E12	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E13	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E14	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E15	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E16	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E17	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E18	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E19	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E20	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E21	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E22	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E23	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E24	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E25	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E26	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E27	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E28	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E29	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E30	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E31	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E32	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E33	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E34	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E35	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
演習 E36	選択(指定科目B1)	2~4	同上		◎	◎	◎	○
日本文学講読1(古代)	選択(指定科目B2)	2~4	日本文学の古代に焦点を当てて特定のジャンル、作品もしくは領域横断の分野について、より内容に深く踏み込んで読み込み、理解を深める。		◎	○	○	
日本文学講読2(古代)	選択(指定科目B2)	2~4	同上		◎	○		
日本文学講読3(中世)	選択(指定科目B2)	2~4	日本文学の中世に焦点を当てて特定のジャンル、作品もしくは領域横断の分野について、より内容に深く踏み込み、理解を深める。		◎	○	○	
日本文学講読4(中世)	選択(指定科目B2)	2~4	同上		◎	○		
日本文学講読5(近世)	選択(指定科目B2)	2~4	日本文学の近世領域に焦点を当てて、特定のジャンル、作品もしくは領域横断の分野について、より内容に深く踏み込み、理解を深める。		◎	○	○	
日本文学講読6(近世)	選択(指定科目B2)	2~4	同上		◎	○	○	
日本文学講読7(和歌・俳諧)	選択(指定科目B2)	2~4	日本文学の詩歌、韻文に焦点を当てて、特定のジャンル、作品もしくは領域横断の分野について、より内容に深く踏み込み、理解を深める。		◎	○	○	
日本文学講読8(和歌・俳諧)	選択(指定科目B2)	2~4	同上		◎	○	○	
漢文学講読1(漢文)	選択(指定科目B2)	2~4	日本文学の漢文学に焦点を当てて特定のジャンル、作品もしくは領域横断の分野について、より内容に深く踏み込み、理解を深める。		◎	○	○	

文学部文学部(日本文学専修)のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)				
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	①キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること	②テキストを正確に読解できること	③テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること	④複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力をもつこと	⑤他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと
漢文学講読2(漢文)	選択 (指定科目B2)	2~4	同上		◎	○	○	
漢文学講読3(漢文)	選択 (指定科目B2)	2~4	同上		◎	○	○	
漢文学講読4(漢文)	選択 (指定科目B2)	2~4	同上		◎	○	○	
卒業論文(制作)予備研究1	選択 (指定科目B2)	3~4	学業の集大成としての卒業論文・制作に取り組むための基礎的な方法やテーマ、問題設定法などを習得する。		◎	◎	○	○
卒業論文(制作)予備研究2	選択 (指定科目B2)	3~4	学業の集大成としての卒業論文・制作に取り組むための基礎的な方法やテーマ、問題設定法などを習得する。		◎	◎	○	○
研究小論文2a	選択 (指定科目B2)	2	特定のテーマを設定して問題解決のための視点や方法、調査法、研究態度などを身につけ、できるだけその成果を卒業論文につなげていく。		◎	◎	○	○
研究小論文1b	選択 (指定科目B2)	1	特定のテーマを設定して問題解決のための視点や方法、調査法、研究態度などを身につけ、できるだけその成果を卒業論文につなげていく。		◎	◎	○	○
研究小論文2b	選択 (指定科目B2)	2	特定のテーマを設定して問題解決のための視点や方法、調査法、研究態度などを身につけ、できるだけその成果を卒業論文につなげていく。		◎	◎	○	○
文学講義301(日本文学史・古代1)	選択 (指定科目C)	2~4	日本文学史・文化史について、特に古代の領域に焦点を当てて、多面的に学び、習熟する。		◎	○	○	
文学講義302(日本文学史・古代2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上		◎	○	○	
文学講義303(日本文学史・古代3)	選択 (指定科目C)	2~4	同上		◎	○	○	
文学講義304(日本文学史・古代4)	選択 (指定科目C)	2~4	同上		◎	○	○	
文学講義305(日本文学史・中世1)	選択 (指定科目C)	2~4	日本文学史・文化史について、特に中世の領域に焦点を当てて多面的に学び、習熟する。		◎	○	○	
文学講義306(日本文学史・中世2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上		◎	○	○	
文学講義307(日本文学史・和歌・俳諧1)	選択 (指定科目C)	2~4	日本文学史・文化史について、特に前近代の和歌、俳諧など詩歌の領域に焦点を当てて学び、習熟する。		◎	○	○	
文学講義308(日本文学史・和歌・俳諧2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上		◎	○	○	
文学講義309(日本文学史・和歌・俳諧3)	選択 (指定科目C)	2~4	同上		◎	○	○	
文学講義310(日本文学史・和歌・俳諧4)	選択 (指定科目C)	2~4	同上		◎	○	○	
文学講義311(日本文学史・近世1)	選択 (指定科目C)	2~4	日本文学史・文化史について、特に近世の領域に焦点を当てて多面的に学び、習熟する。		◎	○	○	
文学講義312(日本文学史・近世2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上		◎	○	○	
文学講義313(日本文学史・近現代1)	選択 (指定科目C)	2~4	日本文学史・文化史について、特に近現代の領域に焦点を当てて多面的に学び、習熟する。		◎	○	○	
文学講義314(日本文学史・近現代2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上		◎	○	○	
文学講義315(日本語史1)	選択 (指定科目C)	2~4	同上		◎	○	○	
文学講義316(日本語史2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上		◎	○	○	
文学講義317(古代日本文学1)	選択 (指定科目C)	2~4	日本の古代文学・文化に焦点を当てて、より専門的な角度からその特色や意義について理解を深める。		◎	○	○	
文学講義318(古代日本文学2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上		◎	○	○	
文学講義319(古代日本文学3)	選択 (指定科目C)	2~4	同上		◎	○	○	
文学講義320(古代日本文学4)	選択 (指定科目C)	2~4	同上		◎	○	○	
文学講義321(中世日本文学1)	選択 (指定科目C)	2~4	日本の中世文学・文化に焦点を当てて、より専門的な角度からその特色や意義について理解を深める。		◎	○	○	
文学講義322(中世日本文学2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上		◎	○	○	
文学講義323(中世日本文学3)	選択 (指定科目C)	2~4	同上		◎	○	○	
文学講義324(中世日本文学4)	選択 (指定科目C)	2~4	同上		◎	○	○	
文学講義325(和歌・俳諧1)	選択 (指定科目C)	2~4	日本の前近代の詩歌、特に和歌や俳諧に焦点を当てて、専門的な角度からその特色や意義について理解を深める。		◎	○	○	
文学講義326(和歌・俳諧2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上		◎	○	○	

文学部文学部(日本文学専修)のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)				
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	①キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること	②テキストを正確に読解できること	③テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること	④複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力をもつこと	⑤他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと
文学講義327(和歌・俳諧3)	選択(指定科目C)	2~4	同上		◎	○	○	
文学講義328(和歌・俳諧4)	選択(指定科目C)	2~4	同上		◎	○	○	
文学講義329(近世日本文学1)	選択(指定科目C)	2~4	日本の近世文学・文化に焦点を当てて、より専門的な角度からその特色や意義について理解を深める。		◎	○	○	
文学講義330(近世日本文学2)	選択(指定科目C)	2~4	同上		◎	○	○	
文学講義331(近現代日本文学1)	選択(指定科目C)	2~4	日本の近現代文学・文化に焦点を当てて、より専門的な角度からその特色や意義について理解を深める。		◎	○	○	
文学講義332(近現代日本文学2)	選択(指定科目C)	2~4	同上		◎	○	○	
文学講義333(近現代日本文学3)	選択(指定科目C)	2~4	同上		◎	○	○	
文学講義334(近現代日本文学4)	選択(指定科目C)	2~4	同上		◎	○	○	
文学講義335(近現代日本文学5)	選択(指定科目C)	2~4	同上		◎	○	○	
文学講義336(近現代日本文学6)	選択(指定科目C)	2~4	同上		◎	○	○	
文学講義337(日本語学1)	選択(指定科目C)	2~4	前近代・近代を通じて日本語に焦点を当てて、より専門的な角度からその特色や意義について理解を深める。		○	○	○	
文学講義338(日本語学2)	選択(指定科目C)	2~4	同上		○	○	○	
文学講義339(日本語学3)	選択(指定科目C)	2~4	同上		○	○	○	
文学講義340(日本語学4)	選択(指定科目C)	2~4	同上		○	○	○	
文学講義341(日本語学5)	選択(指定科目C)	2~4	同上		○	○	○	
文学講義342(日本語学6)	選択(指定科目C)	2~4	同上		○	○	○	
文学講義343(書誌学1)	選択(指定科目C)	2~4	日本文学の書誌学について、より専門的な角度からその特質や意義について理解を深める。		○	○	○	
文学講義344(書誌学2)	選択(指定科目C)	2~4	同上		○	○	○	
文学講義345(文献解読1)	選択(指定科目C)	2~4	日本文学の文献について、物質文化の面からより専門的かつ多角的に学び、理解を深める。		○	○	○	
文学講義346(文献解読2)	選択(指定科目C)	2~4	同上		○	○	○	
卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	選択(指定科目C)	4	学業の集大成としての卒業論文・制作を作成するために方法やテーマ、問題設定法などを習得し、論文や制作を完成させる。		◎	○	○	○

カリキュラム・マップ

文学部の教育目的	
世界の多様な文学・言語・文化・歴史・思想・教育に関するテキストや人に触れることを通じて、幅広い人文的教養と深い人間理解に裏打ちされた主体的な批評精神をもって社会に貢献できる人を育てる。	

学修成果	
<p>【学部全体】 「学士(文学)」を授与される学生は、以下のような能力を有する。</p> <p>① キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること ② テキストを正確に読解できること ③ テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること ④ 複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力を持つこと ⑤ 他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと</p>	<p>文学部は、言葉による人類の遺産を知り、文化創造の源に参加する。 ・文芸・思想専修では言語表現力に広く深い理解を持ち、哲学的思考を行い、それを論理的あるいは文芸的形式をもって表現できる。</p>

文学部文学部(文芸・思想専修)のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	①キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること	②テキストを正確に読解できること	③テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること	④複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力をもつこと	⑤他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと	⑥言語表現力に広く深い理解を持ち、自ら表現すること	⑦哲学的思考を行い、その内容を自ら表現すること
入門演習 F1・F2	必修(指定科目A)	1	文芸書や思想書などさまざまなジャンルのテキストに触れつつ、それらのテキストを自ら解釈し説明することができる。	○	◎	◎	△	△	○	○
卒業論文(制作)予備演習	必修(指定科目A)	3	卒業論文ないしそれに準ずる文章を作成するうえで必要な論理と構成について学び、その成果をレポート作成に適用することができる。						◎	◎
演習 F1～F12	選択(指定科目B1)	2～4	文芸・思想にかかわる基礎的な文献をじっくりと読み解き、粘り強い分析を行うことができる。	△	◎	◎	◎	◎		
演習F17～F32	選択(指定科目B1)	3～4	文芸・思想にかかわる様々な専門領域に即して、教員の設定するテーマのもとに自ら探求に取り組み、その結果を表現することができる。		○	○	○	○	◎	◎
文芸・思想文献講読1～4	選択(指定科目B2)	2～4	文芸・思想にかかわる諸問題について、外国語のテキスト読解をつうじて理解し説明することができる。		◎	◎		○		
文学講義401・402(文明批評論1・2)	選択(指定科目C)	2～4	文明がはらむ諸問題について、特定の問題設定のもとで理解し説明することができる。				◎			○
文学講義403・404(文芸評論1・2)	選択(指定科目C)	2～4	特定の問題設定のもとで、文学批評・研究の種々の方法を習得し、自ら用いることができる。		○	◎			○	
文学講義405・406(文化翻訳論1・2)	選択(指定科目C)	2～4	文化翻訳の諸問題について、特定の問題設定のもとで理解し説明することができる。					◎	○	○
文学講義407・408(マンガ／アニメ表現論1・2)	選択(指定科目C)	2～4	マンガ・アニメーションにかかわる諸問題について、特定の問題設定のもとで理解し説明することができる。				◎		△	△
文学講義409・410(小説創作論1・2)	選択(指定科目C)	2～4	小説創作にかかわる諸問題について、特定の問題設定のもとで理解し説明することができる。		○	○			◎	
文学講義411・412(詩創作論1・2)	選択(指定科目C)	2～4	詩の創作にかかわる諸問題について、特定の問題設定のもとで理解し説明することができる。		○	○			◎	
文学講義413(ジェンダー論)	選択(指定科目C)	2～4	ジェンダーをめぐる諸問題について理解し説明することができる。				○	◎		○
文学講義414(広告文芸論)	選択(指定科目C)	2～4	広告という表現形態をめぐる諸問題について理解し説明することができる。				◎		○	
文学講義415(文芸編集論)	選択(指定科目C)	2～4	文芸編集をめぐる諸問題について理解し説明することができる。				◎		○	
文学講義416(演劇)	選択(指定科目C)	2～4	演劇をめぐる諸問題について理解し説明することができる。		△	△	◎		○	
文学講義417(現代歌謡論)	選択(指定科目C)	2～4	現代歌謡をめぐる諸問題について理解し説明することができる。		○	△	◎		○	
文学講義418・419(世界文学論1・2)	選択(指定科目C)	2～4	世界文学の諸問題について、特定の問題設定のもとで理解し説明することができる。		○	△	○	◎	○	
哲学講義1(西洋哲学)	選択(指定科目C)	2～4	西洋哲学の諸問題について理解し説明することができる。				◎	◎		○
哲学講義2(東洋哲学)	選択(指定科目C)	2～4	東洋哲学の諸問題について理解し説明することができる。				◎	◎		○
哲学講義3・4(芸術論1・2)	選択(指定科目C)	2～4	芸術表現とは何かという問題について、特定の問題設定のもとで理解し説明することができる。				◎		○	○
哲学講義5・6(現代思想の諸問題1・2)	選択(指定科目C)	2～4	現代思想の諸問題について、特定の問題設定のもとで理解し説明することができる。				◎	○		○
哲学講義7(死生論)	選択(指定科目C)	2～4	生と死にかかわる諸問題について理解し説明することができる。				◎	○		○
哲学概論1	選択(指定科目C)	1～4	西洋哲学に即して哲学的思考について理解し説明することができる。				◎	○		○
哲学概論2	選択(指定科目C)	1～4	東洋哲学に即して哲学的思考について理解し説明することができる。				◎	○		○
現代倫理	選択(指定科目C)	2～4	現代社会における倫理的諸問題について学びつつ、それについて考察し意見を述べるることができる。				◎	○		○
卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	選択(指定科目C)	4	大学での4年間の学習・研究の成果を卒業論文または卒業制作として形に残すことができる。	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎

## カリキュラム・マップ

文学部の教育目的	
世界の多様な文学・言語・文化・歴史・思想・教育に関するテキストや人に触れることを通じて、幅広い人文的教養と深い人間理解に裏打ちされた主体的な批評精神をもって社会に貢献できる人を育てる。	

学修成果	
<b>【学部全体】</b> 「学士(文学)」を授与される学生は、以下のような能力を有する。 ① キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること ② テキストを正確に読解できること ③ テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること ④ 複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力を持つこと ⑤ 他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと	史学科は、過去を知り未来を志向するなかで、総合的な人間理解に達することを目標とする。 ・日本史学専修では日本に関する史料に基づく歴史研究の手法および発想が身につく。 ・世界史学専修では大陸世界と海域世界の史料に基づく歴史研究の手法および発想が身につく。 ・超域文化学専修では複合社会文化論、文化人類学、アメリカ社会史、地域研究論、文化環境学の研究手法および発想が身につく。

文学部史学科のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1)人文学の発想を幅広く深く身につける	2)テキストを正確に読解できる	3)テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できる	4)複数のテキストや事象にわたる主題についてその細部を分析し、総合する思考力を獲得する	5)日本に関する史料に基づく歴史研究の手法および発想を身につける	6)大陸世界と海域世界の史料に基づく歴史研究の手法および発想を身につける	7)複合社会論、文化人類学、アメリカ社会史、地域研究論、文化環境学の研究手法・発想を身につける
入門演習 G1a~G1i	必修 (指定科目A)	1	大学で学ぶ「歴史学」や「超域文化学」の考え方や基礎的方法に慣れる。	◎	◎	○		○	○	○
" G2a~G2i	必修 (指定科目A)	1	同上	◎	◎	○		○	○	○
卒業論文(制作)予備演習	必修 (指定科目A)	3	卒業論文(制作)の準備を行い、12,000字以上のレポートを完成させる。	◎	◎	◎	◎			
演 習G1~12	選択 (指定科目B1)	2~4	世界史の文献や史料を正確に読解する能力を身につけるとともに、自分の研究テーマを設定して先行研究や史料を収集・読解・報告し、他学生や教員との議論を深める。	◎	◎	◎	○	◎		
" G13~24	選択 (指定科目B1)	3~4	世界史の文献や史料を正確に読解する能力を身につけるとともに、自分の設定した研究テーマの先行研究や史料を収集・分析して報告し、他学生や教員と議論を深めつつ卒業論文の準備に努める。	◎	◎	◎	◎	◎		
" H1~12	選択 (指定科目B1)	2~4	日本史の文献や史料を正確に読解する能力を身につけるとともに、自分の研究テーマを設定して先行研究や史料を収集・読解・報告し、他学生や教員との議論を深める。	◎	◎	◎	○		◎	
" H13~24	選択 (指定科目B1)	3~4	日本史の文献や史料を正確に読解する能力を身につけるとともに、自分の設定した研究テーマの先行研究や史料を収集・分析して報告し、他学生や教員と議論を深めつつ卒業論文の準備に努める。	◎	◎	◎	◎		◎	
" I1~12	選択 (指定科目B1)	2~4	超域文化学の文献や資料を正確に読解する能力を身につけるとともに、自分の研究テーマを設定して先行研究や資料を収集・読解・報告し、他学生や教員との議論を深める。	◎	◎	◎	○			◎
" I13~24	選択 (指定科目B1)	3~4	超域文化学の文献や資料を正確に読解する能力を身につけるとともに、自分の設定した研究テーマの先行研究や資料を収集・分析して報告し、他学生や教員と議論を深めつつ卒業論文の準備に努める。	◎	◎	◎	◎			◎
フィールドワークH1a	選択 (指定科目B2)	2~4	様々な地域へ赴き、歴史学の史料の収集方法、現地調査の方法などを学ぶ。	◎	◎	◎	○	◎		
" H1b	選択 (指定科目B2)	2~4	同上					◎		
" H2a	選択 (指定科目B2)	2~4	同上					◎		
" H2b	選択 (指定科目B2)	2~4	同上						◎	
フィールドワークI1	選択 (指定科目B2)	2~4	文化人類学、人文地理学、民俗学などの手法を用いて、実際に情報を収集し、地域研究をすすめる力を養う。	◎	◎	◎	○			◎
" I2	選択 (指定科目B2)	2~4	文化人類学、人文地理学、民俗学などの手法を用いて、実際に情報を収集し、地域研究をすすめる力を養う。報告書にまとめる作業を通じて、基本的な表現手法を学ぶ。	◎	◎	◎	◎			◎
専門基礎1 (アジア・アフリカ系言語1)	選択 (指定科目B2)	2~4	主として歴史研究に必要なインドネシア語の基礎を学ぶ。		◎					
" 2 (アジア・アフリカ系言語2)	選択 (指定科目B2)	2~4	同上		◎					
" 3 (ヨーロッパ系言語1)	選択 (指定科目B2)	2~4	主として歴史研究に必要なイタリア語の基礎を学ぶ。		◎					
" 4 (イングリッシュ・コンプリヘンジョン)	選択 (指定科目B2)	2~4	主として歴史研究に必要な英語の文章の読解能力を身につける。		◎					
" 5 (アカデミックライティング)	選択 (指定科目B2)	2~4	歴史の論文を英語で執筆する際の基礎について学ぶ。		◎					
" 6 (ヨーロッパ系言語2)	選択 (指定科目B2)	2~4	主として歴史研究に必要なイタリア語の基礎を学ぶ。		◎					
" 7 (ヨーロッパ系言語3)	選択 (指定科目B2)	2~4	主として歴史研究に必要な諸言語の基礎を学ぶ。		◎					
" 8	選択 (指定科目B2)	2~4	(2014年度以降開講しない)		◎					
" 9 (近代史料論)	選択 (指定科目B2)	2~4	日本史研究に必要な史料の読解能力を身につける。		◎					
" 10 (現代史料論)	選択 (指定科目B2)	2~4	日本史研究に必要な史料の読解能力を身につける。		◎					
" 11 (古文書1)	選択 (指定科目B2)	2~4	日本史研究に必要な史料の読解能力を身につける。		◎					
" 12 (古文書2)	選択 (指定科目B2)	2~4	日本史研究に必要な史料の読解能力を身につける。		◎					

文学部史学科のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1)人文学の発想を幅広く深く身につける	2)テキストを正確に読解できる	3)テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できる	4)複数のテキストや事象にわたる主題についてその細部を分析し、総合する思考力を獲得する	5)日本に関する史料に基づく歴史研究の手法および発想を身につける	6)大陸世界と海域世界の史料に基づく歴史研究の手法および発想を身につける	7)複合社会論、文化人類学、アメリカ社会史、地域研究論、文化環境学の研究方法・発想を身につける
" 13 (アジア・アフリカ系言語3)	選択 (指定科目B2)	2~4	トルコ語の基礎を習得し、将来の研究に使用できるようになる。		◎					
" 14	選択 (指定科目B2)	2~4	スワヒリ語の初歩的な会話技術を習得する。 (2018年度以降廃止予定)		◎					
" 15 (カルトグラフィ)	選択 (指定科目B2)	2~4	図像での表現方法を学び、実際に生かす方法を習得する。							◎
" 16 (フィールドワーク方法論)	選択 (指定科目B2)	2~4	フィールドワークの理論と方法を学ぶ。							◎
宗教の多様性と社会	選択 (指定科目B2)	2~4	新設2019年度から開講予定							◎
史学講義1 (地中海世界1)	選択 (指定科目C)	2~4	古代から中世半ばまでの地中海世界の歴史的問題について学ぶ。						◎	
史学講義2 (地中海世界2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上						◎	
史学講義3 (前近代ヨーロッパ1)	選択 (指定科目C)	2~4	ヨーロッパの中世から近世にかけての歴史的問題について学ぶ。						◎	
史学講義4 (前近代ヨーロッパ2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上						◎	
史学講義5 (近代ヨーロッパ1)	選択 (指定科目C)	2~4	ヨーロッパの近代の歴史的問題について学ぶ。						◎	
史学講義6 (近代ヨーロッパ2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上						◎	
史学講義7 (グローバルヒストリー)	選択 (指定科目C)	2~4	諸世界の歴史的形成・特質を一国史の枠にとらわれずに理解する。						◎	
史学講義8 (地域からの歴史)	選択 (指定科目C)	2~4	同上						◎	
史学講義9 (前近代東アジア・ユーラシア1)	選択 (指定科目C)	2~4	前近代東アジア・ユーラシアの歴史的展開について学ぶ。						◎	
史学講義10 (前近代東アジア・ユーラシア2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上						◎	
史学講義11 (前近代における法と国家)	選択 (指定科目C)	2~4	古代・中世の社会的、政治的・思想的問題について学ぶ。						◎	
史学講義12	選択 (指定科目C)	2~4	(2012年度以降開講しない)						◎	
史学講義13 (近代東アジア・ユーラシア1)	選択 (指定科目C)	2~4	近代東アジア・ユーラシアの歴史的展開について学ぶ。						◎	
史学講義14 (近代東アジア・ユーラシア2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上						◎	
史学講義15 (アジア海域1)	選択 (指定科目C)	2~4	アジアの海域世界における諸地域の人々との交流について学ぶ。						◎	
史学講義16 (アジア海域2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上						◎	
史学講義17 (世界大戦とヨーロッパ)	選択 (指定科目C)	2~4	2次にわたる大戦のあった20世紀のヨーロッパの歴史的問題について学ぶ。						◎	
史学講義18 (世界大戦とアジア)	選択 (指定科目C)	2~4	第二次世界大戦におけるアジア社会の問題について学ぶ。						◎	
史学講義19 (近現代における法と社会)	選択 (指定科目C)	2~4	中世から現代までの東ヨーロッパとロシアにおける歴史的問題について学ぶ。						◎	
史学講義20	選択 (指定科目C)	2~4	(2013年度以降開講しない)							
史学講義21 (社会史の方法)	選択 (指定科目C)	2~4	アナール学派をはじめとする現在の社会史研究の方法、特徴について学ぶ。						◎	
史学講義22 (マイノリティと境界)	選択 (指定科目C)	2~4	歴史におけるマイノリティや周縁の人々の諸問題について学ぶ。						◎	
史学講義23 (人間と都市)	選択 (指定科目C)	2~4	アジアやヨーロッパの諸都市の歴史的展開について学ぶ。						◎	
史学講義24 (人間と環境)	選択 (指定科目C)	2~4	アジアや、ヨーロッパの過去の環境について学ぶ。						◎	
史学講義25 (信仰と知の歴史1)	選択 (指定科目C)	2~4	アジアやヨーロッパの諸都市の歴史的展開について学ぶ。 社会における精神活動の歴史的展開について学ぶ。						◎	
史学講義26 (信仰と知の歴史2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上						◎	
史学講義27 (古代日本とアジア1)	選択 (指定科目C)	2~4	古代日本史をアジア史の中に位置付けて考察する。					◎		
史学講義28 (古代日本とアジア2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上					◎		
史学講義29 (律令国家論1)	選択 (指定科目C)	2~4	律令制国家に関する諸テーマについて知識を身に付けるとともに理解を深める。					◎		
史学講義30 (律令国家論2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上					◎		
史学講義31 (中世日本史論1)	選択 (指定科目C)	2~4	中世日本に関する歴史学上の諸テーマについて知識を身に付けるとともに洞察力を深め、中世日本の特徴を理解する。					◎		
史学講義32 (中世日本史論2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上					◎		
史学講義33 (中世日本と世界)	選択 (指定科目C)	2~4	中世日本を世界史的視野から考察し、その特徴について知識を身に付けるとともに理解を深める。					◎		
史学講義34 (中世国家と民衆)	選択 (指定科目C)	2~4	中世日本を民衆の視点から考察し、その特徴について知識を身に付けるとともに理解を深める。					◎		
史学講義35 (近世日本史論)	選択 (指定科目C)	2~4	近世日本に関する歴史学上の諸テーマについて知識を身に付けるとともに洞察力を深め、近世日本の特徴を理解する。					◎		
史学講義36 (伝統社会史論1)	選択 (指定科目C)	2~4	「伝統社会」に関する人々の認識について考察し、理解を深める。					◎		
史学講義37 (近世日本と世界)	選択 (指定科目C)	2~4	近世日本を世界史的視野から考察し、その特徴について知識を身に付けるとともに理解を深める。					◎		

文学部史学科のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1)人文学の発想を幅広く深く身につける	2)テキストを正確に読解できる	3)テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できる	4)複数のテキストや事象にわたる主題についてその細部を分析し、総合する思考力を獲得する	5)日本に関する史料に基づく歴史研究の手法および発想を身につける	6)大陸世界と海域世界の史料に基づく歴史研究の手法および発想を身につける	7)複合社会論、文化人類学、アメリカ社会史、地域研究論、文化環境学の研究方法・発想を身につける
史学講義38 (日本社会史論1)	選択 (指定科目C)	2~4	日本社会史に関する諸テーマをとりあげ、日本社会の歴史的特徴について理解を深める。					◎		
史学講義39 (近代日本史論1)	選択 (指定科目C)	2~4	近代日本に関する歴史学上の諸テーマについて知識を身につけるとともに洞察力を深め、近代日本の特徴を理解する。					◎		
史学講義40 (近代日本史論2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上					◎		
史学講義41 (近代日本と世界)	選択 (指定科目C)	2~4	近代日本を世界史的視野から考察し、その特徴について知識を身に付けるとともに理解を深める。					◎		
史学講義42 (日本女性史)	選択 (指定科目C)	2~4	日本史を女性やジェンダーの視点から考察し、その特徴について理解する。					◎		
史学講義43 (現代日本史論)	選択 (指定科目C)	2~4	現代日本に関する歴史学上の諸テーマについて知識を身につけるとともに洞察力を深め、その特徴を理解する。					◎		
史学講義44 (現代日本と世界)	選択 (指定科目C)	2~4	現代日本を世界史的視野から考察し、その特徴について理解する。					◎		
史学講義45 (伝統社会史論2)	選択 (指定科目C)	2~4	「伝統社会」に関する人々の認識について考察し、理解を深める。					◎		
史学講義46 (日本社会史論2)	選択 (指定科目C)	2~4	日本社会史に関する諸テーマをとりあげ、日本社会の歴史的特徴について理解を深める。					◎		
史学講義47 (戦争と平和の歴史1)	選択 (指定科目C)	2~4	戦争の勃発や平和の構築に関する歴史学上の諸テーマについて理解を深める。					◎		
史学講義48 (戦争と平和の歴史2)	選択 (指定科目C)	2~4	戦争の勃発や平和の構築に関する歴史学上の諸テーマについて理解を深める。					◎		
史学講義49 (都市と村落)	選択 (指定科目C)	2~4	日本史における都市と農村の構造や関係性に関する、歴史学上の諸テーマについて理解を深める。					◎		
史学講義50 (日本の思想・文化)	選択 (指定科目C)	2~4	日本の思想・文化について歴史的視点から考察し、その特徴について理解を深める。					◎		
史学講義51 (日本変動期史論1)	選択 (指定科目C)	2~4	日本史上の変動期に関して知識を深め、その因果関係について理解を深める。					◎		
史学講義54 (史料学)	選択 (指定科目C)	2~4	日本史の研究に利用しうる様々な史料について具体的な事例から理解を深める。					◎		
超域文化学講義1 (文化人類学1)	選択 (指定科目C)	2~4	文化人類学の基礎的な考え方を学ぶ。							◎
超域文化学講義2 (文化人類学2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上							◎
超域文化学講義3 (地域研究論1)	選択 (指定科目C)	2~4	地域研究の基本的な考え方を具体的な地域を取り上げながら学ぶ。							◎
超域文化学講義4 (地域研究論2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上							◎
超域文化学講義5 (地域研究論3)	選択 (指定科目C)	2~4	同上							◎
超域文化学講義7 (アメリカ社会史1)	選択 (指定科目C)	2~4	複合的な視点からアメリカ史を理解することができるようになる。							◎
超域文化学講義8 (アメリカ社会史2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上							◎
超域文化学講義9 (アメリカ社会史3)	選択 (指定科目C)	2~4	同上							◎
超域文化学講義11 (イスラーム複合社会史1)	選択 (指定科目C)	2~4	イスラーム史をその前史、周辺地域の歴史との観k婦負から複合的に理解できるようになる。							◎
超域文化学講義12 (イスラーム複合社会史2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上							◎
超域文化学講義13 (イスラーム複合社会論1)	選択 (指定科目C)	2~4	イスラーム文化を地球的な視点から理解できるようになる。							◎
超域文化学講義14 (イスラーム複合社会論2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上							◎
超域文化学講義15 (文化環境学1)	選択 (指定科目C)	2~4	文化環境学の基礎を学び、人間の生活を相対的に眺める視点を獲得することができる。							◎
超域文化学講義16 (文化環境学2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上							◎
超域文化学講義17 (農耕牧畜論)	選択 (指定科目C)	2~4	農耕・牧畜の生業に着目して人類の生活を鳥瞰できるようになる。							◎
超域文化学講義18 (考古学)	選択 (指定科目C)	2~4	考古学の基礎を学び、現在の生活を相対的に見る視点を養うことができる。							◎
超域文化学講義19 (都市空間論)	選択 (指定科目C)	2~4	都市的な空間の理解をすすめ、そこでの生活の特性を理解できるようになる。							◎
超域文化学講義20 (文化ダイナミクス論)	選択 (指定科目C)	2~4	文化の動態について学び、現在の社会を相対的に見る視点を獲得。							◎
超域文化学講義21 (フォークロア1)	選択 (指定科目C)	2~4	具体的な事例に基づいて民族学の基礎を学ぶ。							◎
超域文化学講義22 (フォークロア2)	選択 (指定科目C)	2~4	同上							◎
超域文化学講義23 (比較技術論)	選択 (指定科目C)	2~4	技術の視点から人類の生活を横断的に比較し、その動態を理解できるようになる。							◎
超域文化学講義24 (人類生態学)	選択 (指定科目C)	2~4	具体的な事例に基づき、人類生態学の基礎を学ぶ。							◎

文学部史学科のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1)人文学の発想を幅広く深く身につける	2)テキストを正確に読解できる	3)テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できる	4)複数のテキストや事象にわたる主題についてその細部を分析し、総合する思考力を獲得する	5)日本に関する史料に基づく歴史研究の手法および発想を身につける	6)大陸世界と海域世界の史料に基づく歴史研究の手法および発想を身につける	7)複合社会論、文化人類学、アメリカ社会史、地域研究論、文化環境学の研究手法・発想を身につける
自然地理学1	選択 (指定科目C)	2~4	自然地理学の基礎を学び、地球全体の環境を意識できるようになる。							◎
" 2	選択 (指定科目C)	2~4	同上							◎
比較政治史1	選択 (指定科目C)	2~4	政治史に関係する諸テーマについて比較史の視点から考察する。						◎	
" 2	選択 (指定科目C)	2~4	同上					◎		
地理学概説1	選択 (指定科目C)	1~4	地理学の基礎を学び、人間の生活の多様性を理解できるようになる。							◎
" 2	選択 (指定科目C)	1~4	同上							◎
地誌学1	選択 (指定科目C)	1~4	具体的な事例に基づいて地域と生活の密接な関係を理解できるようになる。							◎
" 2	選択 (指定科目C)	1~4	同上							◎
卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	選択 (指定科目C)	4	大学での4年間の学習・研究の成果を卒業論文または卒業制作としてまとめる。			◎	◎			
社会学	専門関連	1~4	学科固有の学問領域を「社会学」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○		
経済学	専門関連	1~4	学科固有の学問領域を「経済学」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○		
法律学	専門関連	1~4	学科固有の学問領域を「法律学」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○		
政治学	専門関連	1~4	学科固有の学問領域を「政治学」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○		

カリキュラム・マップ

文学部の教育目的	
世界の多様な文学・言語・文化・歴史・思想・教育に関するテキストや人に触れることを通じて、幅広い人文的教養と深い人間理解に裏打ちされた主体的な批評精神をもって社会に貢献できる人を育てる。	

学修成果	
<p>【学部全体】 「学士(文学)」を授与される学生は、以下のような能力を有する。 ① キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること ② テキストを正確に読解できること ③ テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること ④ 複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力を持つこと ⑤ 他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと</p>	<p>教育学科では、教育学および教育事象について広く深い理解を持ち、研究方法と発想が身につく、とりわけ、教育学科教育学専攻課程では教育学の方法論について理解し、基礎的な研究方法と思考のしかたが身につけていること、教育学科初等教育課程では教育学について深い理解を持ち、小学校教員としての知識と技能を身につけることを目標とする。</p>

文学部教育学科(教育学専攻課程)のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)							
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	①キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること	②テキストを正確に読解できること	③テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること	④複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力を持つこと	⑤他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと	⑥調査を通して事象を理解する力を身につける	⑦理論的思考を身につける	⑧専門的知識と技能を身につける
入門演習 J1	必修	1	学生は教育学関係論文の講読を通して教育学の多様な領域に関して基礎的知識、技能を習得できる。		◎	◎	○	△			
入門演習 J2	必修	1	学生は初歩的な教育学調査を行うことによって、教育学の多様な領域に関して基礎的知識、技能を習得できる。		○	○	○	○	◎		
教育学	必修	1	学生は教育にかかわる問題を批判的に吟味検討する力をつけ、教育学の学問領域の特徴を理解できるようになる。					○		◎	◎
教育心理学1	必修	2	学生は障害を持った子どもを含む幼児・児童・生徒の発達と学習の過程について心理学的理解を深めることができる。					○		◎	◎
教育社会学1	必修	2	学生は「教育」「学校」「子ども」「学歴社会」をめぐる諸問題について社会学的視点からの理解を深めることができる。					○		◎	◎
教育史1	必修	2	学生は日本における「近代学校」の歴史的性格を理解し、教育を歴史的に考察する方法を学習することができる。					○		◎	◎
教育哲学1	必修	2	学生は教育哲学の基本的知識を習得し、教育の根源的な問題について哲学的に考察することができるようになる。					○		◎	◎
演習J1-J18	選択 (指定科目B1)	3	学生は受講者全員による文献の読解と議論を通じて、文献検索、調査法、プレゼンテーション、討論、論文作成等の基礎的な研究技法を習得することができる。		◎	○	◎	○	○	◎	◎
教育調査実習1-2	選択 (指定科目B2)	3・4	学生は社会学的な教育調査研究の理論と技法を身につけることができる。			△		◎	◎	○	◎
教育調査実習3-4	選択 (指定科目B2)	3・4	学生は心理学的な教育調査研究の理論と技法を身につけることができる。			△		◎	◎	○	◎
教育実践研究	選択 (指定科目B2)	2~4	学生は自ら研究テーマを設定し、自主的な研究活動に取り組み、研究論文をまとめることができる。			○	△	◎	◎	○	◎
教育方法学	選択 (指定科目C)	2~4	学生は学校における教育方法の理論と実践を学ぶことができる。				△			○	◎
情報教育論	選択 (指定科目C)	2~4	学生は情報教育の意義を学び、教育現場において情報活用指導するための知識と技能を身につけることができる。						◎	○	◎
特別活動の理論と方法	選択 (指定科目C)	2~4	学生は学校における特別活動の内容、目的、今日的課題について理論的側面と実践的側面の両方から学ぶことができる。				△	○		○	◎
生徒指導・進路指導	選択 (指定科目C)	2~4	学生は生活指導と進路指導の内容、目的、今日的課題について理論的側面と実践的側面の両方から学ぶことができる。				△	○		○	◎
教育相談	選択 (指定科目C)	2~4	学生は学校現場で教師に必要とされる児童生徒に対する教育相談のための基礎的知識を身に付けることができる。				△	○		○	◎
カウンセリング	選択 (指定科目C)	2~4	学生はカウンセリングの理論と方法についての理解を深め、その技法について学ぶことができる。					◎	○	○	◎
道徳教育の理論と方法	選択 (指定科目C)	2~4	学生は道徳教育の理論と教育現場における指導について学習することができる。				△	○		○	◎
幼児教育学	選択 (指定科目C)	2~4	学生は幼児教育の理論と思想を学び、幼児教育の理解を深めることができる。					○	◎	○	◎
比較教育学1	選択 (指定科目C)	2~4	学生は比較教育学の理論とその成果を学び、教育について理解を深めることができる。					○		◎	◎
比較教育学2	選択 (指定科目C)	2~4	学生は比較教育学の理論とその成果を学び、教育について理解を深めることができる。					○		◎	◎
キリスト教と教育1	選択 (指定科目C)	2~4	学生はキリスト教と教育の関係を学習することによって、宗教と社会に対する理解を深めることができる。	◎				○		○	◎
キリスト教と教育2	選択 (指定科目C)	2~4	学生はキリスト教と教育の関係を学習することによって、宗教と社会に対する理解を深めることができる。	◎				○		○	◎
教育心理学2	選択 (指定科目C)	2~4	学生は現代社会における多様な人々の発達と学習の過程について心理学的理解を深めることができる。					○		◎	◎
教育社会学2	選択 (指定科目C)	2~4	学生は「教育問題」「教師-生徒関係」「学校的知識」をめぐる諸問題について社会学的視点からの理解を深めることができる。					○		◎	◎
教育史2	選択 (指定科目C)	2~4	学生は教育の歴史を学ぶことによって、教育についての理解を深めることができる。					○		◎	◎
教育哲学2	選択 (指定科目C)	2~4	学生は教育哲学の理論を学ぶことによって、教育について理解を深めることができる。					○		◎	◎
社会教育・生涯学習論	選択 (指定科目C)	2~4	学生は社会教育・生涯学習の理論と実践を学ぶことによってインフォーマル教育、成人教育についての理解を深めることができる。					○		◎	◎
教育課程論	選択 (指定科目C)	2~4	学生は教育課程論の理論を学び、教育課程デザインのための知識や技能を身につけることができる。					○		△	◎
国際教育論	選択 (指定科目C)	2~4	学生は国際教育の理論と実践について学び、教育の国際的課題についての理解を深めることができる。					○		△	◎
環境教育論	選択 (指定科目C)	2~4	学生は環境教育の歴史、意義、内容と方法、国際的動向、課題などについて総合的に理解を深めることができる。					○		△	◎
教育と表現	選択 (指定科目C)	2~4	学生は教育の現場で求められる表現力について、実際に自身の身体を動かすことを通じて、理解を深めることができる。					◎	◎		○
教育臨床論	選択 (指定科目C)	2~4	学生は教育臨床論の理論と実践を学び、教育と人についての理解を深めることができる。					◎		◎	◎

文学部教育学科(教育学専攻課程)のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)							
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	①キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること	②テキストを正確に読解できること	③テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること	④複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力をもつこと	⑤他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと	⑥調査を通して事象を理解する力を身につける	⑦理論的思考を身につける	⑧専門的知識と技能を身につける
教育臨床心理学	選択(指定科目C)	2~4	学生は教育臨床心理学の理論と実践を学び、教育と人についての理解を深めることができる。					◎		◎	◎
発達心理学	選択(指定科目C)	2~4	学生は発達心理学の基本的な視座とその課題について具体的事例に依拠しながら理解を深めることができる。					◎		◎	◎
現代教育の諸問題1-4	選択(指定科目C)	2~4	学生は教育にかかわる今日的諸問題を批判的に検討することを通して教育についての理解を深めることができる。					○		◎	◎
子ども文化論	選択(指定科目C)	2~4	学生は子ども文化の学習を通して、子どもという存在の理解を深めることができる。					○		○	◎
哲学的人間学	選択(指定科目C)	2~4	学生は哲学の立場から人間学を学ぶことを通じて、人間理解を深めることができるようになる。				○	○		◎	◎
国語科教育論	選択(指定科目C)	2~4	学生は国語科の授業について、その目標・内容・方法・評価の学習をし、さらに児童の人間形成における本教科の役割について理解を深めることができる。						◎		◎
社会科教育論	選択(指定科目C)	2~4	学生は社会科の授業について、その目標・内容・方法・評価の学習をし、さらに児童の人間形成における本教科の役割について理解を深めることができる。						◎		◎
算数科教育論	選択(指定科目C)	2~4	学生は算数科の授業について、その目標・内容・方法・評価の学習をし、さらに児童の人間形成における本教科の役割について理解を深めることができる。						◎		◎
理科教育論	選択(指定科目C)	2~4	学生は理科の授業について、その目標・内容・方法・評価の学習をし、さらに児童の人間形成における本教科の役割について理解を深めることができる。						◎		◎
生活科教育論	選択(指定科目C)	2~4	学生は生活科の授業について、その目標・内容・方法・評価の学習をし、さらに児童の人間形成における本教科の役割について理解を深めることができる。						◎		◎
家庭科教育論	選択(指定科目C)	2~4	学生は家庭科の授業について、その目標・内容・方法・評価の学習をし、さらに児童の人間形成における本教科の役割について理解を深めることができる。						◎		◎
人間と哲学1	選択(指定科目C)	1~4	西洋哲学に即して哲学的思考について理解し説明することができる。				◎	○		○	
人間と哲学2	選択(指定科目C)	1~4	東洋哲学に即して哲学的思考について理解し説明することができる。				◎	○		○	
世界史	専門関連科目	1~4	学科固有の学問領域を「世界史」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○			
日本史	専門関連科目	1~4	学科固有の学問領域を「日本史」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○			
社会学	専門関連科目	1~4	学科固有の学問領域を「社会学」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○			
経済学	専門関連科目	1~4	学科固有の学問領域を「経済学」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○			
法律学	専門関連科目	1~4	学科固有の学問領域を「法律学」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○			
政治学	専門関連科目	1~4	学科固有の学問領域を「政治学」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○			

カリキュラム・マップ

文学部の教育目的	
世界の多様な文学・言語・文化・歴史・思想・教育に関するテキストや人に触れることを通じて、幅広い人文的教養と深い人間理解に裏打ちされた主体的な批評精神をもって社会に貢献できる人を育てる。	

学修成果	
<p>【学部全体】 「学士(文学)」を授与される学生は、以下のような能力を有する。 ① キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること ② テキストを正確に読解できること ③ テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること ④ 複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力を持つこと ⑤ 他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと</p>	<p>教育学科では、教育学および教育事象について広く深い理解を持ち、研究方法と発想が身につく、とりわけ、教育学科教育学専攻課程では教育学の方法論について理解し、基礎的な研究方法と思考のしかたが身につけていること、教育学科初等教育課程では教育学について深い理解を持ち、小学校教員としての知識と技能を身につけることを目標とする。</p>

文学部教育学科(初等教育専攻課程)のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)							
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	①キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること	②テキストを正確に読解できること	③テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること	④複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力を持つこと	⑤他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと	⑥実習を通して事象を理解する力を身につける	⑦理論的思考を身につける	⑧専門的知識と技能を身につける
入門演習 J1	必修 (指定科目A1)	1	学生は教育学関係論文の講読を通して教育学の多様な領域に関して基礎的知識、技能を習得できる。		◎	◎	○	△			
入門演習 J2	必修 (指定科目A1)	1	学生は初歩的な教育学調査を行うことによって、教育学の多様な領域に関して基礎的知識、技能を習得できる。		○	○	○	○	◎		
教育学	必修 (指定科目A1)	1	学生は教育にかかわる問題を批判的に吟味検討する力をつけ、教育学の学問領域の特徴を理解できるようになる。					○		◎	◎
教育心理学1	必修 (指定科目A1)	2	学生は障害を持った子どもを含む幼児・児童・生徒の発達と学習の過程について心理学的理解を深めることができる。					○		◎	◎
教育社会学1	必修 (指定科目A1)	2	学生は「教育」「学校」「子ども」「学歴社会」をめぐる諸問題について社会的視点からの理解を深めることができる。					○		◎	◎
教育史1	必修 (指定科目A1)	2	学生は日本における「近代学校」の歴史的な性格を理解し、教育を歴史的に考察する方法を学習することができる。					○		◎	◎
教育哲学1	必修 (指定科目A1)	2	学生は教育哲学の基本的知識を習得し、教育の根源的な問題について哲学的に考察することができるようになる。					○		◎	◎
国語科教育法a	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校の国語科教育に関する理論的・実践的諸問題を考察し、教材・教具の開発や指導計画から評価までの指導法について、その知識と技能を体験的に獲得することができる。				△		◎		◎
国語科教育法b	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校の国語科教育に関する理論的・実践的諸問題を考察し、教材・教具の開発や指導計画から評価までの指導法について、その知識と技能を体験的に獲得することができる。				△		◎		◎
社会科教育法a	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校の社会科教育に関する理論的・実践的諸問題を考察し、教材・教具の開発や指導計画から評価までの指導法について、その知識と技能を体験的に獲得することができる。				△		◎		◎
社会科教育法b	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校の社会科教育に関する理論的・実践的諸問題を考察し、教材・教具の開発や指導計画から評価までの指導法について、その知識と技能を体験的に獲得することができる。				△		◎		◎
算数科教育法a	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校の算数科教育に関する理論的・実践的諸問題を考察し、教材・教具の開発や指導計画から評価までの指導法について、その知識と技能を体験的に獲得することができる。				△		◎		◎
算数科教育法b	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校の算数科教育に関する理論的・実践的諸問題を考察し、教材・教具の開発や指導計画から評価までの指導法について、その知識と技能を体験的に獲得することができる。				△		◎		◎
理科教育法a	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校の理科教育に関する理論的・実践的諸問題を考察し、教材・教具の開発や指導計画から評価までの指導法について、その知識と技能を体験的に獲得することができる。				△		◎		◎
理科教育法b	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校の理科教育に関する理論的・実践的諸問題を考察し、教材・教具の開発や指導計画から評価までの指導法について、その知識と技能を体験的に獲得することができる。				△		◎		◎
生活科教育法a	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校の生活科教育に関する理論的・実践的諸問題を考察し、教材・教具の開発や指導計画から評価までの指導法について、その知識と技能を体験的に獲得することができる。				△		◎		◎
生活科教育法b	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校の生活科教育に関する理論的・実践的諸問題を考察し、教材・教具の開発や指導計画から評価までの指導法について、その知識と技能を体験的に獲得することができる。				△		◎		◎
家庭科教育法a	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校の家庭科教育に関する理論的・実践的諸問題を考察し、教材・教具の開発や指導計画から評価までの指導法について、その知識と技能を体験的に獲得することができる。				△		◎		◎
家庭科教育法b	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校の家庭科教育に関する理論的・実践的諸問題を考察し、教材・教具の開発や指導計画から評価までの指導法について、その知識と技能を体験的に獲得することができる。				△		◎		◎
音楽科教育法a	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校の音楽科教育に関する理論的・実践的諸問題を考察し、教材・教具の開発や指導計画から評価までの指導法について、その知識と技能を体験的に獲得することができる。				△		◎		◎
音楽科教育法b	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校の音楽科教育に関する理論的・実践的諸問題を考察し、教材・教具の開発や指導計画から評価までの指導法について、その知識と技能を体験的に獲得することができる。				△		◎		◎
図画工作科教育法a	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校の図画工作科教育に関する理論的・実践的諸問題を考察し、教材・教具の開発や指導計画から評価までの指導法について、その知識と技能を体験的に獲得することができる。				△		◎		◎
図画工作科教育法b	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校の図画工作科教育に関する理論的・実践的諸問題を考察し、教材・教具の開発や指導計画から評価までの指導法について、その知識と技能を体験的に獲得することができる。				△		◎		◎
体育科教育法	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校の体育科教育に関する理論的・実践的諸問題を考察し、教材・教具の開発や指導計画から評価までの指導法について、その知識と技能を体験的に獲得することができる。				△		◎		◎

文学部教育学科(初等教育専攻課程)のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)							
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	①キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること	②テキストを正確に読解できること	③テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること	④複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力をもつこと	⑤他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと	⑥実習を通して事象を理解する力を身につける	⑦理論的思考を身につける	⑧専門的知識と技能を身につける
教職実践演習(小学校)	必修 (指定科目A2)	4	学生は受講学生全体による指導案作成や模擬授業、場面指導などの事例研究やそれらの具体的実践を通じて、教員としての基本的な資質と能力を身につけることができる。				△		◎	○	◎
教職研究	必修 (指定科目A2)	3	学生は「実践的指導力の養成」の考察を通じて、小学校教員の役割と意義を深く理解し、教職の専門性の基礎を身に付ける。				△		◎	○	◎
初等教育実習	必修 (指定科目A2)	4	学生は、実際の教育実践を通じて、学校とそれを取り巻く状況、児童への理解を深め、教師としての力量形成の第一歩を歩むとともに、自らの教職への適性を見定めることができる。					◎	◎	△	◎
音楽実技1	必修 (指定科目A2)	3	学生は読譜の基礎、歌伴奏など、小学校の指導実践に生かすための音楽理論と実技を習得することができる。				△		◎		◎
音楽実技2	必修 (指定科目A2)	3	学生は読譜の基礎、さまざまな楽器の演奏、指揮法を基礎とした合唱・合奏など、小学校の指導実践に生かすための音楽理論と実技を習得することができる。				△		◎		◎
造形表現 1	必修 (指定科目A2)	3	学生は水彩画による描画、木版画、各種デザイン作成など、主に平面表現における実習を通じて、小学校の指導実践に生かすための造形美術の基本的技術を習得することができる。				△		◎		◎
造形表現 2	必修 (指定科目A2)	3	学生は粘土による彫塑、木材を使った工作など、主に立体表現における実習を通じて、小学校の指導実践に生かすための造形美術の基本的技術を習得することができる。				△		◎		◎
体育実技	必修 (指定科目A2)	3	学生は小学校で実施される運動種目を実際に行うことにより、体育実技の理解と教授法を児童の発育・発達という観点から学習することができる。						◎		◎
教育方法学	必修 (指定科目A2)	2~4	学生は学校における教育方法の理論と実践を学ぶことができる。				△			○	◎
特別活動の理論と方法	必修 (指定科目A2)	2~4	学生は学校における特別活動の内容、目的、今日的課題について理論的側面と実践的側面の両方から学ぶことができる。				△	○		○	◎
生徒指導・進路指導	必修 (指定科目A2)	2~4	学生は生活指導と進路指導の内容、目的、今日的課題について理論的側面と実践的側面の両方から学ぶことができる。				△	○		○	◎
教育相談	必修 (指定科目A2)	2~4	学生は学校現場で教師に必要とされる児童生徒に対する教育相談のための基礎的知識を身に付けることができる。				△	○		○	◎
道德教育の理論と方法	必修 (指定科目A2)	2~4	学生は道德教育の理論と教育現場における指導について学習することができる。				△	○		○	◎
演習J1-J18	選択 (指定科目B1)	3	学生は受講者全員による文献の読解と議論を通じて、文献検索、調査法、プレゼンテーション、討論、論文作成等の基礎的な研究技法を習得することができる。		◎	○	◎	○	○	◎	◎
教育調査実習1-2	選択 (指定科目B2)	3・4	学生は社会的な教育調査研究の理論と技法を身につけることができる。			△		◎	◎	○	◎
教育調査実習3-4	選択 (指定科目B2)	3・4	学生は心理学的な教育調査研究の理論と技法を身につけることができる。			△		◎	◎	○	◎
教育実践研究	選択 (指定科目B2)	2~4	学生は自ら研究テーマを設定し、自主的な研究活動に取り組み、研究論文をまとめることができる。			○	△	◎	◎	○	◎
国語科教育論	選択 (指定科目C1)	2~4	学生は国語科の授業について、その目標・内容・方法・評価の学習をし、さらに児童の人間形成における本教科の役割について理解を深めることができる。						◎		◎
社会科教育論	選択 (指定科目C1)	2~4	学生は社会科の授業について、その目標・内容・方法・評価の学習をし、さらに児童の人間形成における本教科の役割について理解を深めることができる。						◎		◎
算数科教育論	選択 (指定科目C1)	2~4	学生は算数科の授業について、その目標・内容・方法・評価の学習をし、さらに児童の人間形成における本教科の役割について理解を深めることができる。						◎		◎
理科教育論	選択 (指定科目C1)	2~4	学生は理科の授業について、その目標・内容・方法・評価の学習をし、さらに児童の人間形成における本教科の役割について理解を深めることができる。						◎		◎
生活科教育論	選択 (指定科目C1)	2~4	学生は生活科の授業について、その目標・内容・方法・評価の学習をし、さらに児童の人間形成における本教科の役割について理解を深めることができる。						◎		◎
家庭科教育論	選択 (指定科目C1)	2~4	学生は家庭科の授業について、その目標・内容・方法・評価の学習をし、さらに児童の人間形成における本教科の役割について理解を深めることができる。						◎		◎
情報教育論	選択 (指定科目C2)	2~4	学生は情報教育の意義を学び、教育現場において情報活用指導するための知識と技能を身につけることができる。						◎	○	◎
カウンセリング	選択 (指定科目C2)	2~4	学生はカウンセリングの理論と方法についての理解を深め、その技法について学ぶことができる。					◎	○	○	◎
幼児教育学	選択 (指定科目C2)	2~4	学生は幼児教育の理論と思想を学び、幼児教育の理解を深めることができる。					○	◎	○	◎
比較教育学1	選択 (指定科目C2)	2~4	学生は比較教育学の理論とその成果を学び、教育について理解を深めることができる。					○		◎	◎
比較教育学2	選択 (指定科目C2)	2~4	学生は比較教育学の理論とその成果を学び、教育について理解を深めることができる。					○		◎	◎
キリスト教と教育1	選択 (指定科目C2)	2~4	学生はキリスト教と教育の関係を学習することによって、宗教と社会に対する理解を深めることができる。	◎				○		○	◎
キリスト教と教育2	選択 (指定科目C2)	2~4	学生はキリスト教と教育の関係を学習することによって、宗教と社会に対する理解を深めることができる。	◎				○		○	◎
教育心理学2	選択 (指定科目C2)	2~4	学生は現代社会における多様な人々の発達と学習の過程について心理学的理解を深めることができる。					○		◎	◎
教育社会学2	選択 (指定科目C2)	2~4	学生は「教育問題」「教師-生徒関係」「学校的知識」をめぐる諸問題について社会的視点からの理解を深めることができる。					○		◎	◎
教育史2	選択 (指定科目C2)	2~4	学生は教育の歴史を学ぶことによって、教育についての理解を深めることができる。					○		◎	◎
教育哲学2	選択 (指定科目C2)	2~4	学生は教育哲学の理論を学ぶことによって、教育について理解を深めることができる。					○		◎	◎
社会教育・生涯学習論	選択 (指定科目C2)	2~4	学生は社会教育・生涯学習の理論と実践を学ぶことによってインフォーマル教育、成人教育についての理解を深めることができる。					○		◎	◎
教育課程論	選択 (指定科目C2)	2~4	学生は教育課程論の理論を学び、教育課程デザインのための知識や技能を身につけることができる。					○		△	◎
国際教育論	選択 (指定科目C2)	2~4	学生は国際教育の理論と実践について学び、教育の国際的課題についての理解を深めることができる。					○		△	◎
環境教育論	選択 (指定科目C2)	2~4	学生は環境教育の歴史、意義、内容と方法、国際的動向、課題などについて総合的に理解を深めることができる。					○		△	◎
教育と表現	選択 (指定科目C2)	2~4	学生は教育の現場で求められる表現力について、実際に自身の身体を動かすことを通じて、理解を深めることができる。					◎	◎		○

文学部教育学科(初等教育専攻課程)のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)							
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	①キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること	②テキストを正確に読解できること	③テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること	④複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力をもつこと	⑤他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと	⑥実習を通して事象を理解する力を身につける	⑦理論的思考を身につける	⑧専門的知識と技能を身につける
教育臨床論	選択(指定科目C2)	2~4	学生は教育臨床論の理論と実践を学び、教育と人についての理解を深めることができる。					◎		◎	◎
教育臨床心理学	選択(指定科目C2)	2~4	学生は教育臨床心理学の理論と実践を学び、教育と人についての理解を深めることができる。					◎		◎	◎
発達心理学	選択(指定科目C2)	2~4	学生は発達心理学の基本的な視座とその課題について具体的事例に依拠しながら理解を深めることができる。					◎		◎	◎
子ども文化論	選択(指定科目C2)	2~4	学生は子ども文化の学習を通して、子どもという存在の理解を深めることができる。					○		○	◎
哲学的人間学	選択(指定科目C2)	2~4	学生は哲学の立場から人間学を学ぶことを通して、人間理解を深めることができるようになる。				○	○		◎	◎
現代教育の諸問題1-4	選択(指定科目C2)	2~4	学生は教育にかかわる今日的諸問題を批判的に検討することを通して教育についての理解を深めることができる。					○		◎	◎
人間と哲学1	選択(指定科目C)	1~4	西洋哲学に即して哲学的思考について理解し説明することができる。				◎	○		○	
人間と哲学2	選択(指定科目C)	1~4	東洋哲学に即して哲学的思考について理解し説明することができる。				◎	○		○	
卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	選択(指定科目C2)	4	学生は教育を主題とした問題関心のもとで専門性の高い卒業論文の制作に取り組むことができる。		◎	◎	◎	○	◎	◎	◎
世界史	専門関連科目	1~4	学科固有の学問領域を「世界史」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○			
日本史	専門関連科目	1~4	学科固有の学問領域を「日本史」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○			
社会学	専門関連科目	1~4	学科固有の学問領域を「社会学」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○			
経済学	専門関連科目	1~4	学科固有の学問領域を「経済学」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○			
法律学	専門関連科目	1~4	学科固有の学問領域を「法律学」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○			
政治学	専門関連科目	1~4	学科固有の学問領域を「政治学」の観点より相対的に関連づける。	○			◎	○			